

やさしいまち

2019.

7

— 優しさ織りなす SAPPORO —

No. 232

今号の社協のひと

→P10



まもりんツイッター更新中!

→P09



特集

「共感する」
「終活」を考える

→P02



SAPPORO SHAKYO HEART KNIT



さっぽろ社協ハートニット

社協の[S]と札幌市民の[S]を組み合わせ、「ハート」をモチーフに、心の糸を紡ぐ社協のネットワークが、やさしく包む生地(札幌のまちの基盤の目)をつくりだす様子を表しています。



「終活」を考える

認定NPO法人シーズネット 理事長 おくだ たつと 奥田 龍人氏

まずはエンディングノートにチャレンジ

「〇活」という言葉は、この頃巷にあふれています。その元祖となったのは「就活」（「現代用語の基礎知識」2000年）で、次に「婚活」（同2010年）、「終活」（同2011年）と続きますが、すでになじみの言葉です。他にも現代用語の基礎知識では、「離活」、「朝活」、「保活」などが取り上げられていますが、これらの意味が全部わかりますか？それこそ「脳活」のような問いになりましたが、「離活」は離婚の準備のこと、「朝活」は就業前の時間を勉強や趣味などの活動に充てること、「保活」は子どもを保育園に入れるために保護者が行う活動、ということらしいです。このように、「〇活」には「何かを成し遂げるための努力」という語感があり、今より良くなるためや、これから来ることのための準備をしておくなどの意味が感じ取れます。



▲奥田 龍人氏

さて、「終活」というと、皆さんは何を思い浮かべますか？文字通り、人生のお終いに備えるための様々な活動ということですが、その範囲は実に広いものです。

終活でまず取り組むのはエンディングノートの作成が一般的です。自分の意志が表明できなくなるかもしれないという状況に備えて「記録しておく」ことが重要なのです。そのエンディングノートも巷に様々なタイプが出回っていますが、内容はほぼ同様で、主に「①連絡先（家族や友人など）、②終末期の医療・介護の希望（延命処置など）、③財産関係（遺言・遺贈・相続など）、④葬儀・墓など、⑤その他（ペットの処遇、パソコン・スマホなどのデータ処分など）」、というようなところでしょうか。エンディングノートは、遺言書と違い法的な強制力はなく備忘録のようなものですので、書けるところから書いていつでも見直すというように気楽に取り組みましょう。

人生の棚卸しと「創活」

また、多くのエンディングノートでは、自分のライフヒストリー（生い立ちや経歴、その時々ライフイベントなど）を記入する欄もありますが、これは自分をいったん棚卸ししてみるという作業で、自分の来し方行く末を考える良い機会になるでしょう。

終活に取り組む意義はここにあると思います。自分の人生の閉じ方を考えるということは、逆に言えばこれからの自分の生き方を改めて考えるということにつながるのです。ライフヒストリーを作成していく中で、まだやり残したこと、若い時から挑戦してみたかったけれどできなかったことなどがきっと見つかるはずです。終活とは、これからの人生を前向きに生きていくための活動で、そのために気になることに見通しをつ



けることだと私は思っています。

シーズネットでは、終活をテーマに「創活フェア」というイベントを平成24年、25年に2回行いました。終末期に向かったの準備だけでは暗いイメージがあるということで、むしろ終末期を明るく迎えられるように、今からたくさん楽しめる活動をしましょう、ということで「創活」という言葉をあてはめました。終活関連のブースばかりでなく、フラダンスや歌声喫茶、カーリンコンなどのニュースポーツも盛り込んで、これからの人生を楽しみましょうというメッセージを盛り込みました。



▲にぎわった創活フェア(平成24年)

また、自分のライフヒストリーをまとめておくことは、介護を受けるようになったときにも役立つものです。たとえば「本人がどのような歩みをされて今に至るのか」について、ご家族がケアをする側に情報を提供することで、本人らしく生きるケアを目指すことができます。ですから、まずは自分の人生の棚卸しをしてみませんか。

介護が必要になっても、公的サービスをうまく利用しながら自己実現を図り、自分らしく暮らせるようにしたいものです。そのためのポイントは「サービスをうまく利用する」ということで、その極意はサービスを提供する人と人間関係(コミュニケーション)を良いものにする＝「支えられ上手」になる、ということなのです。サービスを提供する側も人間ですから、より良いコミュニケーションを築くことができれば、やはりサービスのホスピタリティは向上するのではないでしょうか。

結城先生が提唱する「介活6カ条」は、①要介護者になったら「支えられ上手」に、②介護サービスは「口コミ」が大事、③元気なうちから親子で「介護」を話す、④相談できる人や機関を確認しておこう、⑤かかりつけ医を持つこと、⑥70歳まではアルバイトでいいので働こう、というものです。



▲シーズネットで大通公園の花壇ボランティア活動

「介活」も考えたい

「介活」とは、介護を受ける心構えや準備などのことで、ゆうき やすひろ 淑徳大学の結城康博教授が唱えているものです。結城先生は、いずれ介護が必要になるときに備えて「高齢者自身も意識を高める」ことが必要だと指摘します。

さて、このように終活と一口に言っても様々な分野、内容がありますね。札幌市社会福祉協議会が4月から毎月開講している「私の生き方セミナー～いつまでも自分らしく～終活2019」には、これからの人生を楽しむヒントがたくさん盛り込まれています。ご興味のある方は是非ご参加を！(P07参照)

にっぽんの福祉をかわいくしたい

株式会社エムビーピークリエイティブジャパン 代表取締役 おおうみ えみ 大海 恵聖氏

2010年、関節リウマチの発症をきっかけに、金融機関を退職し起業しました。

病気になったことで、車いすや杖などの福祉用具に目が行くようになり、「にっぽんの福祉をかわいくしたい」をコンセプトに事業をスタートさせました。



▲大海 恵聖氏

事務所を構えた場所は “ものづくりのシェアオフィス”

そこで様々な職種の方と繋がりができ、現在の定番商品でもある“3Dプリントした車いす型のチャームが付いたアクセサリ”や、“車いすに乗った女の子や男の子のキャラクターデザイン”が生まれました。



▲3Dプリンターで作った車いす型のチャーム付きピアス

自分の手が細かい作業をすることができなくなってきたこともあり、パソコンでデータを作り、デジタル工作機械を使いはじめ、病気になる前より、レベルアップしたモノづくりが可能になりました。

障がいがある方の技術取得の場作り

自社開発のオリジナル商品を見た方々からの“3D商品の相談”が次第に増えてきて、障がいがある方や福祉事業所の職員を対象に3Dデータ制作に必要な技術講座を企画しました。

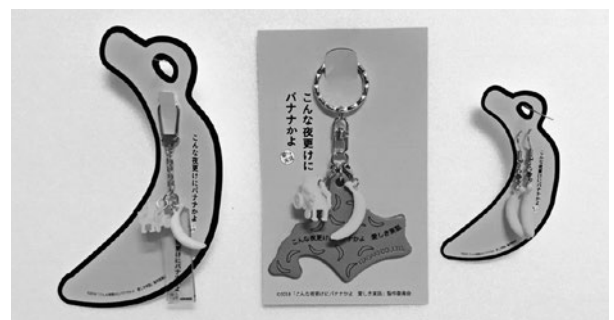
3Dソフト本の著者や3Dプリンターメーカーなど、東

京から講師を招き、本格的なものづくりの場を福祉事業所に提案しました。その後、受講した事業所にデータ制作を依頼し、障がい者スポーツ競技の認知を広めるためのアクセサリ商品の生産をしています。

最高のモノづくりのステージ

また、映画の公式グッズの作成も手がけました。昨年の春、北海道オールロケで製作された、映画「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」。筋ジストロフィーを発症した男性の実話で、“車いすに乗っている主人公”“地元北海道が舞台の実話”“北海道を代表する俳優大泉洋さん主演”ということで、映画の製作発表直後から、「この映画のグッズ作りを絶対やりたい！障がいがある方も最高のモノづくりが可能なることをこの映画を通して世の中に伝えたい！」という熱い想いを込めた企画書を作成して、松竹株式会社に単独で持ち込んだところ採用され、映画の公式グッズを作成することになりました。

障がいがある方や福祉事業所と共に制作したこの公式グッズは映画公開に合わせて全国の映画館・松竹ネットショップで販売されました。



▲映画「こんな夜更けにバナナかよ」公式グッズ

また、昨年度からは、札幌市社会福祉協議会の賛助会員となり、福祉に携わることがなかった方達とのつながりもひろがっています。会話のきっかけツールになる商品の企画・開発・制作・販売をしながら、「福祉×モノづくり」で、これからも札幌の社会福祉を盛り上げて、にっぽんの福祉をかわいくしていきたいと思えます。

<表彰歴> 平成26年「北海道福祉のまちづくり賞」受賞
平成30年「北海道輝く女性チャレンジ賞」受賞



「健康寿命延伸」のために

NPO法人 札幌歩こう会 理事長 わたなべ とうじ 渡部 東司氏

結成当初の10年間の活動

札幌歩こう会の活動は、定山溪観光協会主催の「かっぱウォーク」の支援として、豊かな水への感謝を込めた、大通から定山溪温泉までの30キロのウォーキングから始まりました。

平成7年・8年には、旭川歩こう会との共催で石狩川河口から旭川の大雪湖 音更橋までを歩



▲渡部理事長

く「石狩川250キロウォーク」を実施しました。47都道府県、道内211市町村から参加を募ったところ100名を超える参加があり、その中の最高齢はなんと91歳でした。

結成当初、約30名だった会員は、翌年には約300名、さらに平成9年の時点で800名を超えました。この年には、オランダ・ドイツ遠征ウォークや「第1回北の都札幌ソーデーマーチ」を開催しました。



▲さっぽろのまちをウォーキング

各自治体との共催や支援のウォーキング

各自治体との共催や支援のウォーキングイベントも多く実施しています。石狩市、滝川市、江別市、小樽市、北広島市、千歳市、室蘭市、苫小牧市、恵庭市などです。企業や団体との共催のウォーキング大会は、「みずウォーク(読売新聞)」「花木水ウォーク(北海道新聞)」「SDGs*ウォーク(よしもと興業)」「北海道マラソン応援ウォーク」「北広島30キロ歩ける会」「全国生命保険協会特別協賛ソーデーウォーク」などがあります。

その他にも、環境保全のために「エコロジーウォーキング」「鴨々川清掃ウォーク」「中島公園クリーンアップ作戦」「豊平川清掃キャンペーン」などへの協力も行っています。



▲家族連れの姿も



▲足は第2の心臓とも言われます

「健康寿命を延ばす」楽しいウォーキングを

今年6月22日・23日には「第23回北の都札幌ソーデーウォーク」を実施します。200以上の団体や企業、組織に支援協力をいただきながら、2日間で延3,000人(うち札幌市民1,200名)の参加を目標に、現在準備を進めています。老若男女どなたの参加も歓迎しています。

「高齢化社会の健康寿命」の延伸には、食事、睡眠、運動と共に人との繋がりが重要です。「健康経営」や「SDGs*」の実現に取り組む企業が増加の傾向にあり、社内ウォーキング大会は、社員・家族の親睦にもつながります。札幌歩こう会では「仲間と一緒に楽しいウォーキング」を掲げ、年数回の食事会やバスツアーを実施しています。まさしく歩友の勧めです。

「ウォーキング」が道民、市民運動となるように、これからも諸団体や町内会と連携しながらウォーキングを広めていきます。是非、一緒に歩いて健康寿命を延ばしませんか。

※SDGs…国連が掲げる、持続可能な開発目標
(Sustainable Development Goals)

「札幌歩こう会」とは

ウォーキングは、いつでも、どこでも、だれでも気軽にできる運動です。「NPO法人札幌歩こう会」は、「みんなで楽しく歩きましょう」の趣旨のもと平成4年5月に結成され、健康寿命延伸のために楽しいウォーキングを目指して、様々なイベントを行っています。

また、歩き方・服装・靴の履き方・健康維持向上などについての座学と実技を学ぶ2時間出張講座「ウォーキング教室」を実施し、ウォーキングの普及啓発を進めています。

例会は、会員を対象に月2～3回で5キロと10キロコースを設定しています。

あなたとSHAKYO

～社協を気軽に活用してください!～



●9月14日(土)～20日(金)は『福まちウィーク』

誰もが安心して暮らせる地域社会を築くことを目的に、市内の89地区で見守り・訪問活動を中心とする住民同士の支え合い活動を進めているのが、「地区福祉のまち推進センター(地区福まち)」です。

その「地区福まち」の活動をたくさんの市民に広め、活動への理解と参加を促進するため、9月第3週の『福まちウィーク』に以下のイベントを開催します。

1.「福まち発! 地域福祉市民活動フォーラム」

- 【テーマ】「地域共生社会の実現に向けて
～いま私たちにできること～」
- 【日時】9月17日(火)13時00分～16時00分
(受付12時00分～)
- 【会場】カナモトホール(札幌市民ホール)
- 【内容】・基調講演
「地域共生社会の実現に向けて
～いま私たちにできること～(仮)」
講師/武庫川女子大学 教授 松端 克文 氏
・シンポジウム
「福祉のまちづくりを進める地域の身近な
拠点づくり(仮)」
- 【参加対象】 関心のある市民の方



2.「福まち活動パネル展」

- ①福まち活動写真コンクール入賞作品及び福まち
広報紙作品
地区福まちなどの地域福祉活動の様子を捉えた「活動
写真」と「福まち広報紙」の作品展示
- ②小・中学生の描く福祉のまちづくりポスター
「人にやさしい福祉のまちづくり」をイメージして描いた
ポスター展の入賞作品展示
- 【期間】9月14日(土)～20日(金)
- 【会場】札幌地下街オーロラプラザ(予定)

この記事への
お問い合わせは
地域福祉係へ

●福まち活動の手引き【なかまを増やそう! 編】を発行しました

市内各地で展開されている地区福祉のまち推進事業(福まち活動)ですが、近年は活動者の固定化や不足が大きな課題となっています。

本冊子では、福まち活動において“なかま”(活動者や協力団体)を増やしている取組事例の紹介や、福まちの活動者が出会った心温まる“ほっこりエピソード”を紹介しています。

活動者を増やすヒントや、福まち活動に関わる魅力を感じられる一冊となっていますので、みなさまも是非

非ご一読ください。

冊子の希望や福まち活動についてのご相談は、お住まいの区社会福祉協議会までお寄せください。



この記事への
お問い合わせは
地域福祉係へ



● 障がい者差別解消・虐待防止セミナー

～障がい者が、地域でごく普通の日常生活を送ることができるまちをめざして～

私たちの身近には、障がい者の地域生活をさまたげる、目に見えない「壁」がまだまだ残されています。

日常にひそむ「差別」や、「権利の侵害」に気づき合える地域をつくるために、制度の仕組みと差別解消・虐待防止の取組みを学びませんか。

この記事へのお問い合わせは
権利擁護係・相談係へ

【日 時】 10月9日(水) 10時00分～12時00分

【場 所】 社会福祉総合センター 4階 大研修室

【講 師】 札幌弁護士会高齢者・障害者支援委員
弁護士 塚谷 翔 氏

【参加対象】 どなたでもご参加いただけます

【参加申込み】 9月中旬より受付開始

※詳細は高齢者・障がい者あんしん支援センター(権利擁護係・相談係)までお問い合わせください。

● 陸上自衛隊真駒内駐屯地「曹友会」に感謝状贈呈

「陸上自衛隊真駒内駐屯地 曹友会」では、一人暮らし高齢者宅の灯油補給活動を行っています。

この活動は、現役自衛官が中心となり、休暇を利用して実施しているボランティアで、南区第3地域包括支援センターからの依頼で活動していただいています。平成30年度には、延べ36名の方に対して21時間に及ぶ

活動が行われました。

この度、曹友会隊員の活動を労い感謝の意を示すため、南区第3地域包括支援センターから感謝状を贈呈しました。一人暮らし高齢者の冬の暮らしを支えるこの活動、これからも連携して継続していきます。

この記事へのお問い合わせは
地域包括課へ



● わたしの生き方セミナー いつまでも自分らしく～終活2019～

人生で欠かすことのできない「衣・食・住・財」「医・職・充・才」をテーマに、様々な分野の講師を迎え講座を行います。思い通りに「終活」してみませんか？

お申込みは不要です。直接会場へお越しください。



この記事へのお問い合わせは
総務課へ

【日 時】 毎月第4水曜日 10時00分～11時30分
(質疑応答30分程度)

【場 所】 社会福祉総合センター 1階アトリウム

【費 用】 無料

【内 容】

7月24日: 「遺志を継ぐもの相続・遺言～遺贈・家族信託～」
講師/房川・平尾法律事務所 弁護士 平尾 功二氏

8月28日: 「もしもは必ずやってくる
～地域とつながるシニアの防災～」

講師/北海道防災士会 防災士 金子 哲俊氏



〈事業報告〉へのお問い合わせは
総務課へ

〈決算報告〉へのお問い合わせは
経営財務課へ

平成30年度 札幌市社会福祉協議会の実績

事業報告と決算報告は本会ホームページからもご覧いただけます。

■事業報告(概要)

本会の理念と目標を達成するため、様々な活動に取り組みました(事業報告書から一部抜粋)。

【重点事業項目】

1. 地域福祉の推進
2. ボランティア活動の振興・普及
3. 権利擁護事業の推進
4. 生活困窮者自立支援
5. 自主事業による在宅福祉サービス
6. 介護保険等による在宅福祉サービス
7. 札幌市からの委託による各種保健福祉事業
8. 指定管理施設の管理運営
9. 障がい者支援の取組み
10. 広報・啓発活動
11. 社協組織の運営



▲地域福祉の推進(見守りサポーター養成講座)



▲障がい者支援の取組み(カレーパンプロジェクト)



▲指定管理施設の運営(老人福祉センターの活動)

■決算報告

【収入総額】 6,404,577,685円 - 【支出総額】 5,744,688,919円 = 【令和元年度への繰越金】 659,888,766円

●支出内訳

総額 6,646,745,385円 - 902,056,466円(内部取引消去額) = 5,744,688,919円

○社会福祉事業区分	3,812,437,960円
法人本部拠点区分	1,218,875,415円
社会福祉総合センター拠点区分	452,273,006円
ボランティア活動センター拠点区分	65,956,606円
訪問介護センター拠点区分	1,292,187,096円
指定管理施設(社福)拠点区分	761,637,057円
地域活動センター拠点区分	21,508,780円

○公益事業区分	2,714,074,550円
ほっと・サポート・研修拠点区分	104,833,248円
地域包括支援センター拠点区分	983,113,047円
介護保険関連センター拠点区分	1,249,268,210円
指定管理施設(公益)拠点区分	216,112,260円
社会福祉総合センター(公益)拠点区分	160,747,785円

○収益事業区分	120,232,875円
指定管理施設(収益)拠点区分	120,232,875円

●財産目録

〈資本の部〉

○流動資産	964,138,165円
現預金	181,283,779円
未収金	760,893,863円
その他流動資産	21,960,523円

○固定資産	3,634,853,684円
基本財産	3,000,000円
その他固定資産	3,631,853,684円

資産の部 計 4,598,991,849円

〈負債の部〉

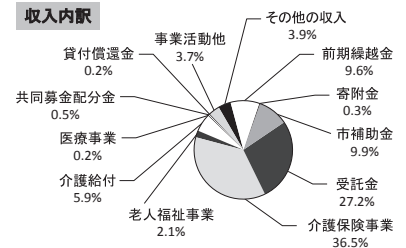
○流動負債	452,984,436円
未払金	267,969,557円
賞与引当金	148,735,037円
その他流動負債	36,279,842円

○固定負債	2,902,563,151円
長期借入金	2,019,521,821円
退職給付引当金	883,041,330円

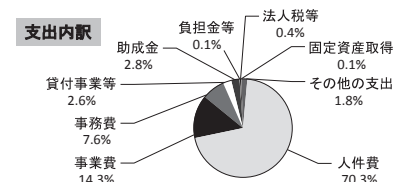
純資産の部 計 1,243,444,262円

負債・純資産の部 計 4,598,991,849円

収入内訳



支出内訳



SHAKYO 掲示板

福祉除雪協力員の募集

自力で除雪が困難な高齢者や障がい者を対象に、道路に面した出入り口部分(間口)と玄関先までの通路部分(敷地内)の雪を除雪して下さる個人・企業を募集しています。

除雪協力員には、12月1日～3月25日の活動期間後に1世帯21,000円を活動費としてお支払いします。みなさんの優しさをスコープに込めて、ご自身の健康づくりにも役立つ除雪活動へのご協力よろしくお願いたします。

【お申込み・お問い合わせ】
地域福祉係・各区社会福祉協議会



親子のための絵本のよみきかせ会

「NPO法人子育て応援かざぐるま」による絵本の読み聞かせと、絵本選びの参考になるお話など。

【日 時】 8月27日(火) 10時30分～11時30分
【会 場】 社会福祉総合センター 4階 視聴覚兼会議室
【費 用】 無料
【定 員】 親子20組(先着順)
【お申込み開始日】 7月22日(月)

【お申込み・お問い合わせ】
情報センター資料室



まもりんツイッター更新中

マスコットキャラクターのまもりんが社協に関する情報を日々発信しています。

アカウント:mamorin93
【お問い合わせ】
総務課



ほっ・とプラザ協力会員の募集

日常生活に支障がある、高齢者や障がい者、病弱な方、産前産後各8週以内の方への家事の手助けや外出時の付き添い、除雪などを行う「有償のボランティア事業」を行っています。会員登録制で、午前の登録説明会、午後の活動前研修を受講することで、経験のない方でも有償ボランティア活動に参加することができます。

【日時・場所】
7月26日(金): 社会福祉総合センター 4階 視聴覚兼会議室
8月 8日(木): 北区民センター 1階 小会議室
8月20日(火): 白石区民センター 5階 集会室D
9月10日(火): 社会福祉総合センター 3階 第2会議室
いずれも10時00分～15時30分

【対 象】 有償ボランティアに関心のある方
【年 会 費】 900円(7月)、800円(8月)、700円(9月)

【お申込み・お問い合わせ】 ほっ・とプラザ

さっぽろ子育てサポートセンター 提供会員募集

育児の援助を受けたい人と行いたい人が会員になり、育児を手助けする「有償のボランティア事業」を行っています。子どもの見守りや保育園の送迎など、子育て中の方が、ちょっとした手助けが欲しい時のサポートです。登録後、11時間の講習があるので、安心して活動に入ることができます。

◇会員登録説明会
【日 時】 7月25日(木) 10時00分～11時30分
【場 所】 社会福祉総合センター 4階 視聴覚兼会議室
【対 象】 札幌市在住、20歳以上の方
【お申込み開始日】 7月12日(金)

【お申込み・お問い合わせ】
さっぽろ子育てサポートセンター



〈情報センター資料室発! 福祉関係者におすすめの一冊〉

「利用者の思いにこたえる介護のことばづかい」

遠藤 織枝、三枝 令子、神村 初美・共著 大修館書店 定価/本体 1,400円(税別)

介護現場で働く方に向けて、利用者さんとその家族が望むコミュニケーションのあり方を解説した本。「専門用語や略語がわからない」「行き過ぎた丁寧さは不快」など、アンケートとインタビューから見えてきた率直な意見を考察していきます。

情報センター資料室で貸出している本やDVDの蔵書検索は、こちらからご覧になれます。
本の貸出を希望される方は情報センター資料室にお越しください。

URL: <http://www.lib-finder.net/sapporo-shakyo/servlet/Index>



今月の
社協のひと

努力次第で活躍の場を広げられる。 そんな職場です。



Profile

プロフィール

もり のぞみ

森 望

総務部
総務課 総務企画係

入社日：
平成22年4月

趣味：
プロレス観戦

休みの日は：
2匹の飼い猫（はっちゃん・
トマス）と遊ぶ

座右の銘：
明日は明日の風が吹く

社協に入るまで

テレビやラジオなどのマスコミ関係の仕事など様々な会社で働いていました。社協の採用試験を受けたのは、ハローワークの求人広告を見たのがきっかけです。「社協」という名前は知っていたので、受けてみようと思いました。

入社してから

嘱託職員として採用されて、生活福祉資金貸付制度の相談援助業務を7年半ほど担当していました。福祉系の学校を出ているわけでもなく、前職も福祉とは関係のない仕事だったこともあり、最初は分からない用語などもありました。福祉についての基礎を勉強する必要性を感じるようになり、当時の上司の勧めもあって、働きながら社会福祉士の資格を取得しました。採用されてから7年、登用試験を受けて正職員になりました。

仕事内容を教えてください

現在は主に社会福祉総合センターの施設管理や車両管理、賛助会員・寄附に関することなどを担当しています。「備品が壊れた」「カラスが入口前に巣を作っている」といった、日々起こるトラブルへの対応や、見学者の受入対応、総合センターの利用促進のためのイベントの企画を行っています。

また、社協の活動をより多くの方に広めて賛助会員を増やすための取組みや、賛助会員企業を講師に迎えたセミナーの開催など、企業の社会貢献の場づくりも進めています。昨年は、地元企業のノウハウを障がい者支援に繋げる新しい取組みとして、人気店「インドカレーミルチ」と障がい者就労支援事業所のコラボによるカレーパ

ンの開発にも携わりました。現在の担当業務は、市民の方を直接支援するような「福祉らしい」内容の仕事ではありませんが、職員が安心して働けるように、また社協を多くの方に知ってもらえるように、総務という立場で組織を支える、「縁の下の力持ち」の部署だと思っています。

<ある日の流れ>

- 8:45 始業 メールチェックや電話連絡
- 9:00～12:00 「終活セミナー」準備・運営
- 12:15～13:00 昼休み
- 13:30～14:00 来客 車両保険に関する打ち合わせ
- 14:00～15:30 外勤 賛助会員企業訪問
- 15:30～17:15 事務処理
- 17:15 終業 退社後は職場のみんなで一杯

これから就職を考えている方へのメッセージ

年齢に関係なく、自分の努力次第で活躍の場を広げられる職場だと思います。私が受けた登用試験のように、キャリアアップ制度も充実しており、入社後も、自分の可能性を広げ続けることができるのではないのでしょうか。



▲終活セミナーの準備中



札幌市社協応援企業のみなさん

～賛助会員企業として札幌市社協の活動を応援しています～

高齢者の安心づくり、しあわせづくりにあなたが貢献、目指すはエキスパート相談員 **シニアライフカウンセラー養成講座 受講者募集!**

後援：北海道新聞社、商工会議所、札幌弁護士会、札幌市社会福祉協議会、キャリアバンク
シニアライフカウンセラー認定資格で得られる知識

高齢者が抱える様々な悩みごとや悩みごとを総合的にサポートし、解決へ導いていくのがシニアライフカウンセラーの役割です。

高齢者住宅／介護保険制度／健康・医療見守り・後見制度／相続・遺言・生活支援財産管理・税金／葬儀・墓／エンディングノートコミュニケーション能力／お片付け・生前整理

この講座に関するお問い合わせ、お申し込みは

一般社団法人 **シニアライフサポート協会**

NPO法人 **札幌高齢者住まいのサポートセンター** TEL 011-200-0947 FAX 011-351-2611

〒060-0052 札幌市中央区南2条東1丁目1-11第3泊ビル1F

シニアライフ相談サロン 代表理事 小幡 一弘

詳細資料無料送付中!



シニアライフカウンセラー **検索**

初級講座

●受講料/19,800円 2日分です

Aコース
7月13日(土)9月8日(日)10月12日(土)11月17日(日)
Bコース
7月14日(日)9月7日(土)10月13日(日)11月16日(土)
A,Bそれぞれ1日ずつお選びください
Aコース・Bコースどちらを先に受講いただいても構いません。

会場・時間 道新プラザDO-BOX 札幌市中央区大通西3丁目6 北海道新聞社北一条館1階
 時間：9:40～16:20 (A・B両コースとも1講座50分・5講座行います)

●受講料は税込、テキスト、認定料を含みます。お申込後にお支払い方法等をご案内いたします。
 初級認定者は中級講座も受講可能です。

認定者数 のべ4740名のカウンセラーが誕生しています(2019年5月現在)

詳細はホームページでご確認ください

トーアレガートパレス

サービス付き高齢者向け住宅

- 平成26年3月オープン、29年10月増築(12階建・全116戸)
- 24時間職員常駐の安心・安全・快適な住まい
- 地下鉄南北線「北34条駅」5番出口から徒歩1分(交通至便)
- 月額利用料金 介護居室(1R:Aタイプ)188,300円
 (食費込み) 一般居室(1Rタイプ)138,300円～
 ◇ (1LDKタイプ)236,600円～

入居相談・昼食付見学会
 随時開催中

※昼食ご希望の場合は事前にお申し込み願います。

場所 トーアレガートパレス
 (北区北31条西4丁目3番18号)
 ※南北線「北34条駅」5番出口後方1分
 申込先 ☎0120-163-063

入居者
 募集中

資料請求・お問い合わせ先：(株)トーアいこいの社 入居相談室(札幌市北区北31条西4丁目3番18号) ☎0120-163-063



白十字

ゆったりフィット ぴったりフィット



全方向フィット

うす型なのに安心の
 約2回分吸収

1回の排泄量を150mlとして当社吸収試験に基づく

『力』を合わせると、未来が明るいワン



協信電気工業株式会社

〒060-0013 札幌市中央区北13条西15丁目6番22号
 TEL (011) 736-8311 FAX (011) 736-8318

税理士法人 札幌中央会計
 川崎・桶谷・折原公認会計士共同事務所

公認会計士	川崎 毅一郎	税理士 梅津 太
税理士	水野 克也	税理士 竹谷 展由
公認会計士	桶谷 洋幸	税理士 松尾 もえ子
公認会計士	折原 博樹	税理士 佐々木一男
税理士	板倉 暢宏	税理士 片岡 雅彦

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目2番地2
 札幌センタービル24階
 TEL (011) 231-6118/FAX (011) 231-6540

応援企業を募集しています!



地域福祉のサポーターとして、お互いに支えあう街づくりの実現のため、札幌市社協の応援企業になりませんか

企業・団体(1口)10,000円

ご寄付ありがとうございました

2019年

4月14日 松緑神道大和山 北海道連合青年会 様
 4月15日 フラワーショップ花れん 様
 4月15日 有楽製菓株式会社 様
 4月18日 福本 正志 様
 4月23日 金澤 幸子 様
 5月 8日 札幌シニア大学同窓会 様

5月13日 札幌聴覚障害者歩くスキー愛好会 様
 5月23日 札幌菱友会・三菱業務懇談会 様
 5月24日 協信電気工業株式会社 様
 5月29日 佐藤水産株式会社 様
 6月 6日 富国生命保険相互会社 札幌支社 様



松緑神道大和山 北海道連合青年会 様



札幌菱友会・三菱業務懇談会 様



協信電気工業株式会社 様



佐藤水産株式会社 様



富国生命保険相互会社 札幌支社 様

内部広報 「今日のイネ」より

●「今日のイネ」とは…

職員が「これは良い!」と感じた、6つのアクションを実践する活動や行動を取り上げて紹介・共有するしくみです。

祝・開所1周年!「まもりんガーデン澄川」は、5月16日(木)おかげさまで開所1周年を迎えることができました。お祝いごとなので、この日の昼食にはお赤飯を用意しました。市社協にとって、「地域密着型通所介護事業」は初めての試みですが、地域に根ざした施設運営を心がけ、これからも職員一同、頑張っております。

<投稿者>

まもりんガーデン
澄川
職員一同



チャレンジ
する

居宅介護支援事業所ではそれぞれ職員のスキルアップのための研修を年間通じて計画しています。北相談センターでは年に1回、総務課職員係で職員の健康管理を担ってくれている保健師にお願いして、セルフケアの研修を受けています。様々な問題をかかえるご利用者の支援や日々の業務に追われ余裕がなくなりがちですが、ストレスの対処法などを社協内部で学べるといのは、とても恵まれている環境なんだと実感しています。

<投稿者>

北事業所長
水野



組織を
強くする

4月17日(水)の総合センター・アトリウムで行った「やさしさぽろコンサート」の様様です。アンサンブルグループ奏楽(そら)さんによる、クラシックやタンゴ、ポップス、演歌まで(!)、オールジャンルながら春らしい選曲で行われました。観客は延べ人数で200名を数え、大好評のうちに終わらせていただきました。次回は8月を予定しています。

<投稿者>

総務企画係
森



つなげる

お問い合わせ先 一覧

電子書籍ポータルサイト「hokkaido ebooks」でもご覧になれます。
<https://www.hokkaido-ebooks.jp/>

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会 〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目1-1 札幌市社会福祉総合センター 3階
 <代表> 電話 614-3345 FAX. 614-1109

総務部

総務課・展示ホール 614-3345
 職員課 623-0010
 経営財務課 614-3343
 情報センター資料室 614-2001
 社会福祉総合センター 614-2948

地域福祉部

地域福祉係 614-3344
 生活福祉係 614-0169
 札幌市共同募金委員会 614-3532
 ボランティア活動センター 623-4000
 ほっ・とプラザ 623-4010
 さっぽろ子育てサポートセンター 623-2415
 高齢者・障がい者生活あんしん支援センター
 (権利擁護係・相談係) 632-7355

介護事業部

介護事業課 623-0001

施設福祉部

施設福祉係 614-1002
 養護老人ホーム長生園 614-1171
 札幌市保養センター駒岡 583-8553

地域包括部

地域包括課 623-4021
 調査課 623-4022

中央区社会福祉協議会 281-6113

北区社会福祉協議会 757-2482

東区社会福祉協議会 741-6440

白石区社会福祉協議会 861-3700

厚別区社会福祉協議会 895-2483

豊平区社会福祉協議会 815-2940

清田区社会福祉協議会 889-2491

南区社会福祉協議会 582-2415

西区社会福祉協議会 641-6996

手稲区社会福祉協議会 681-2644



ホームページでもご覧になれます。
<http://www.sapporo-shakyo.or.jp/>